



## 健やか豆知識

第5回

**Q. アナフィラキシー症状で、  
もっとも危険な症状は、  
次のうちどれでしょう。**

- I 全身のじんましん
- II 耐えがたい腹痛
- III 声がかすれる

おもな原因物質



## アナフィラキシーは、すぐに対応することが大切

アナフィラキシーとは、アレルギー反応が複数の臓器、全身にあつという間に現れ、生命に危機を与え得る過敏反応をいいます。さらに血圧低下や意識障害を伴う状態(意識低下、意識消失、ぐったりするなど)をアナフィラキシーショックといいます。

アナフィラキシーの原因は、小児の多くは食べ物で、大人になると薬が増えます。ハチなどの昆虫やラテックス(天然ゴム)などが原因になることもあります。アナフィラキシーになると、薬や昆虫は“分単位”、食べ物は“30分以内”に症状が急速に悪化します。症状は、皮膚・消化器・呼吸器・心血管系・中枢神経症状などさまざまですが、皮膚・粘膜(じんましん、かゆみ、唇やまぶたの腫れなど)にもっとも現れやすく、次に呼吸器(咳、ゼイゼイ、呼吸困難など)、消化器(嘔吐、下痢、腹痛など)です。

症状が現れたら、すぐに病院やクリニックなどで治療を受けてください。ただし、アレルギー反応は急速に進行して治療が間に合わなくなることも考えられるため、とくにリスクの高い患者さんには、アナフィラキシーを発症したときに患者さん自身が治療できるように「アドレナリン自己注射薬」が処方される場合があります。抗ヒスタミン薬やステロイド薬などアレルギーの処方薬は強いアナフィラキシー症状に治療効果を期待できないので、それらの薬で対応しようと考えないでください。あらかじめ主治医と相談しておくことが大切です。症状が落ち着いた場合でも、数時間経過してから再度症状が起こることがあるため、必ず医師に診てもらいましょう。

監修 今井 孝成 昭和大学医学部小児科 教授

< III 勘工 >

高田製薬株式会社

〒336-8666 埼玉県さいたま市南区沼影1丁目11-1

高田製薬

www.takata-seiyaku.co.jp

さらに詳しい情報は  
ホームページで!

⇒さらに詳しい情報は「クイズ解説」をご覧ください